

こどもの送迎問題の解決を目指す!! 「こども専用送迎サービス」実証実験について

～地域事業者等と横浜市が協働で実施～

横浜市は、中期計画において「子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ」を基本戦略として掲げ、横浜に関わる様々な人・団体の皆様と共に、横浜の受け継ぐ多様な魅力を更に高め、「住みたい都市」「住み続けたい都市」「選ばれる都市」を目指しています。

このたび、子育てにおける時間貧困を解消し、子育てしやすい環境を向上させるため、「こども専用送迎サービス」の実証実験の準備を、地域事業者等と協働で開始します。

実証実験の概要

1 目的

「こども専用送迎サービス」の社会実装に向けて、改善すべき課題やユーザーニーズ等を把握するため、実証実験を実施します。

2 サービスの主な特徴

- (1) 専用アプリで「登録」「予約」「乗降通知の受取」「決済」まで完結できる
- (2) 希望する停留所や乗降日時をリクエストできる
- (3) こども達だけでタクシーに相乗りする



3 実証実験の内容

(※現時点での想定です。詳細は後日公表します。)

- 【時期】 令和5年12月～令和6年2月
- 【対象者】 運行エリアにお住いで、本事業で提携する習い事事業者や医療施設に通う小学生
- 【運行エリア】 市内3区（鶴見区、中区、青葉区）
- 【連携体制】 「こどものみらい共創プラットフォーム」の加盟企業・団体等

「こどものみらい共創プラットフォーム」とは

こどもの習い事通いをサポートするスクールチャトルシェアリングサービスを展開する hab（はぶ）株式会社（代表取締役：豊田洋平）が幹事企業として設立した公民連携のコンソーシアムです。

こどもの送迎課題解決を目指し、横浜市も含め、様々な企業・団体等が加盟しています。

「こどものみらい共創プラットフォーム」
ウェブサイトはこちら ⇒



カテゴリー	企業名・団体名等	役割
教育・医療事業者	(株)ピクニックルーム	生徒・通院患者等への利用促進、こどもデジタルタクシーチケット(以下「デジタルチケット」)の配布
	藤が丘スピカデンタルケアクリニック	
	東急スポーツシステム(株)	
タクシー事業者	アサヒタクシー(株)	輸送サービスの提供
	神奈川都市交通(株)	
	東宝タクシー(株)	
システム開発事業者	hab株式会社 幹事企業	全体プロデュース、配車システムの提供
金融機関	横浜銀行	停留所の提供、デジタルチケットの配布、タクシー内での金融教育コンテンツの配信
	横浜信用金庫	停留所の提供
保険事業者	東京海上日動火災保険(株)	事業リスク分析、商品開発
小売り事業者	神奈川トヨタ自動車(株)	停留所の提供、デジタルチケットの配布
行政	神奈川県	告知支援
	横浜市	広報、乗降スポット調整、保護者アンケート、地域公共交通会議の調整等
その他団体	(一社)全国子育てタクシー協会	子育てタクシードライバーの養成、教育

※令和5年11月1日時点

なお、「こどものみらい共創プラットフォーム」の提案事業が、令和5年7月に、国土交通省「地域交通共創モデル実証プロジェクト」に採択されました。

明日をひらく都市

OPEN × PIONEER

横浜市



お問合せ先

(実証実験に関すること)	経済局 新産業創造課長	大橋 直之	Tel 045-671-3913
(地域交通に関すること)	都市整備局 都市交通課長	森田 真郷	Tel 045-671-3515
(子育て支援に関すること)	こども青少年局企画調整課担当課長	許田 重治	Tel 045-671-4869

※本件は、横浜経済記者クラブへも同時発表しています。